

国語科学習指導案

指導者 松田 鯉栄

- 1 日 時 平成 24 年 9 月 24 日 (月)
- 2 学 年 第 5 学年 2 組 27 名 [5 年 2 組教室]
- 3 単 元 名 「注文の多い料理店」のおもしろさを味わうレシピを作ろう
(学習材: 物語のおもしろさを考えて読み味わおう「注文の多い料理店」東京書籍 5 年下)

4 単元設定の理由

- 本単元は、小学校学習指導要領第 5 学年及び第 6 学年の「C 読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には以下のように示されている。

(1)エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりすること。

本単元では、作者が工夫を凝らした構成や文章表現などに着目して読むことで、物語のおもしろさを味わう学習を行う。本教材が、現実→非現実→現実という流れになっていることや、「戸」と「戸に書かれた言葉」が繰り返されるという構成を捉えさせ、そこに作者のどんな意図が込められているのかや、その効果について考える学習を行うことを通して、物語をより深く味わう力を身に付けさせることをねらいとしている。

本教材は、「同じ生き物であることを忘れ、多くの動植物の命を平然と奪う人間や人間社会への警告」が表されている。この物語は、「設定」「展開」「山場」「結末」という 4 つの部分で構成され、現実的な場面である「設定」「結末」の間に、非現実的な場面「展開」「山場」が位置付けられている。何事も自分たちに都合よく正当化して考える自己中心的な人物として描かれている二人の若い紳士が、山猫の巧妙な罠により自分たちの身に付けているいわゆる「文明」を一つ一つはぎ取られていく物語の展開は、皮肉のおかしさ、不気味さを感じさせる。児童は、物語の構成や「戸」と「言葉」の仕掛けの繰り返しによりテンポの良いストーリー展開になっていることで、興味を持って読み進めることができる。また、二人の紳士の会話文、山猫の子分たちの紳士の不安をあおる掛け合いなどから、登場人物の性格や心情の変化を捉えやすいので、叙述に即して登場人物の相互関係や心情を読み取るのにも適している。

本単元において、「『注文の多い料理店』のおもしろさを味わうレシピを作ろう」を仕組み、教材文の中から表現の工夫や話の展開などのおもしろさを見つけ、その理由とともに「おもしろさのレシピ」にまとめさせる。その中で、紳士や山猫たちの相互関係や心情、描写の工夫、宮沢賢治のメッセージも読み取れるようにしていく。このような活動を通して、文章表現の工夫や場面の様子、人物像を想像して読む力をつけることを目指すことができる。

- 本学級の児童は、第 5 学年 6 月に物語文「世界でいちばんやかましい音」の学習を行い、「設定」「展開」「山場」「結末」という物語の構成を捉えるとともに、繰り返し音読することを通して、反復表現や擬音語の特徴やおもしろさに気づくことができた。また、「設定」の部分と「結末」の部分を読み比べて、登場人物（王子様）の心情がどのように変わったのかを読み取ることもできた。しかし、「なぜ王子様は変わったのか」「王子様の変化とともに、なぜ町の様子も変わったのか」ということについては、「展開」のどの部分と結びつくのかを考えさせながら根拠や理由を明

確にすることができなかつたので、物語の主題をつかむという点では十分ではなかつた。

児童は、全体的に読書を好み、物語文の学習に意欲的であり、文章の中から根拠を挙げて事実や心情の変化を読み取ることはできる。しかし、行間や作品全体からテーマについて考えたり、筆者の作品の中における意図を読み取ったりすることは十分とはいえない。また、少人数でのペア対話やグループ対話では、意見の交流を活発に行うことができるが、クラス全体での全体対話においては、自分の考えをまとめて発表したり、友達の意見を自分の考えと比べながら聞いたりすることには課題がある。

- 指導にあたっては、「作品のおもしろさをレシピにまとめる」という学習の目標をもたせ、児童一人一人が感じた「おもしろさ」をレシピにまとめていく。作者宮沢賢治が工夫を凝らした構成や文章表現（構成や展開、登場人物の人柄・行動・心の動き、会話文、語り口調題名や題名に込められた意味など）に着目して内容を読み取ることで、物語のおもしろさをより深く味わわせたい。レシピにまとめる際には、自分が見つけたおもしろいところとその理由をグループや全体で交流することを通して、自分の考えを深めさせたい。

また、「設定」の部分と「結末」の部分に描かれている二人の紳士の変容を比べたり、「なぜ宮沢賢治は、紙くずのようになった紳士の顔をもとにもどさなかつたのか」の意味を考えたりすることを通して、物語の主題に迫っていく。根拠をもとに主題を考えさせる活動を通して、作品を自分なりに意味づけ、価値づける力をつけていきたい。学習のまとめとして、作品から受け取ったことを「宮沢賢治からのメッセージ」として交流させることは、今後の読書活動において、賢治の作品に流れる自然や人間に対する考えの共通点を探る一助になると考える。

5 研究主題との関わり

(1) 扱う言語活動例

本を読んで推薦の文章を書くこと。（読むこと 言語活動例エ）

(2) 言語活動を充実させるための指導方法の工夫

構成や文章表現の工夫などから、物語のおもしろさを読み取る力と、その「おもしろさ」について自分の考えをまとめ表現する力を身に付けさせるために、注文の多い料理店「おもしろさのレシピ」を書かせる。また、レシピをまとめる際には、自分が見つけたおもしろいところとその理由をグループ対話や全体対話で交流し、自分の考えを深めさせる。

6 単元の目標

- おもしろさの工夫を探しながら物語を読み、自分の考えを深めようとしたり、友達と進んで交流したりしようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】
- ◎ 構成や文章表現の工夫などから、物語のおもしろさを読み取ることができる。 【読むこと エ】
- 物語のおもしろさについて話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【読むこと オ】

7 単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読むこと
単元の評価規準	○おもしろさの工夫を探しながら物語を読み、自分の考えを深めようとしたり、友達と進んで交流しようとしている。	◎構成や文章表現の工夫などから、物語のおもしろさを読み取っている。 ○物語のおもしろさについて話し合い、自分の考えを広げたり、深めたりしている。
学習活動における具体的評価規準	○叙述をもとに、登場人物さの心情や場面の様子を読み取ろうとしている。 ○おもしろさの工夫を探しながら物語を進んで読み、作品のおもしろさを考えようとしている。 ○自分の考えを分かりやすく発表したり、友達と自分の考えの相違点を考えながら聞こうとしている。	○「注文の多い料理店」を読み、叙述をもとに登場人物の心情や行動、場面の様子を読み取っている。 ◎本文の叙述や読み取ったことを根拠に、作品のおもしろさについて自分の考えを持っている。 ○友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、自分の考えを深め、おもしろさのレシピにまとめている。

8 指導計画（全7時間）

次	学 習 活 動	評 価			
		関	読	評価規準	評価方法
一	学習課題「『注文の多い料理店』のおもしろさを味わうレシピを作ろう」を設定し学習の見通しを持つ。 (1) 物語の構造分析をする。 (1)	○		○「注文の多い料理店」の初読の感想を交流し、作品のおもしろさへの関心を持って学習に取り組もうとしている。 ○物語の構造を読み取っている。	行動観察 ノート

二	<p>「注文の多い料理店」をおもしろいと思うところを見つけながら音読する。(1)</p> <p>「注文の多い料理店」を読み、構成や文章表現、話の展開、会話文などのおもしろさを読み取る。(2)</p> <p>現実と非現実の世界での紳士の変化を読み取り、宮沢賢治からのメッセージを考える。(1, 本時1/1)</p>	○	○	<p>○教材文に興味をもち、進んでおもしろいところを見つけながら、読もうとしている。</p> <p>◎「注文の多い料理店」を読み、叙述をもとに登場人物の心情や行動、場面の様子を読み取っている。</p> <p>◎本文の叙述や読み取ったことを根拠に、作品のおもしろさについて自分の考えを持っている。</p> <p>○本文の叙述や読み取ったことを根拠に、作品のテーマについて自分の考えを持っている。</p> <p>○友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、自分の考えを深め、おもしろさのレシピにまとめている。</p>	<p>行動観察 ノート おもしろさのレシピ</p>
三	<p>おもしろさのレシピに書いたことを交流し、感想を伝え合う。(1)</p>	○	○	<p>○友達の見つけたおもしろさについて、自分の見つけたおもしろさと比べながら聞き、感想を伝えている。</p>	<p>行動観察 おもしろさのレシピ</p>

9 本時の展開

(1) 本時の目標

現実世界に戻ってきた場面でのおもしろさや紳士の変容を読み取り、宮沢賢治からのメッセージを考えることができる。

(2) 観点別評価規準

○ 宮沢賢治からのメッセージについて、物語の展開と変容、最後の一文「紙くずのようになった二人の顔だけは、東京に帰っても、お湯に入ってももう元のおりになおりませんでした。」を根拠に、自分の考えを書いている。 [読む能力]

(3) 本時のポイント

本文の叙述や読み取ったことを根拠に、宮沢賢治からのメッセージについて自分の考えを持ち、それを交流することで、物語の主題を捉えることができるようにさせる。

(4) 準備物

「注文の多い料理店」おもしろさのレシピ

(5) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
<p>1 前時までの学習を想起し、物語のおもしろさを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理店からの多くの注文を自分たちの都合のいいように解釈する二人の紳士の会話がおもしろかった。 ・山猫の「おなかにお入りください。」という言葉が部屋の中とお腹の2つの意味がかけられているのがおもしろかった。 ・二人の紳士が「泣いて泣いて泣いて泣いて泣きました。」という表現がおもしろかった。 ・「風がどうとふいてきて、～木はゴトンゴトンと鳴りました。」という表現で現実に戻っているところがおもしろかった。 ・紳士のしわくちやの顔が元に戻らなかったところがおもしろかった。 <p>2 本時のめあてを知る。</p>	<p>○前時までに作ったおもしろさのレシピを見て、振り返る。</p> <p>○自分が見つけた「おもしろさ」を発表させる。</p>	
<p>物語の「おもしろさ」を読み取り、宮沢賢治からのメッセージを考えよう。</p>		
<p>3 紳士の変容について話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">変わっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こわい思いをしたのに山鳥を買って帰っている。 ・助けてもらったのにえらそうな態度だ。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">変わった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔がくしゃくしゃになった。 	<p>○助かったとたん態度を変える二人の姿をつかませ、本質は変わっていないことを捉えさせる。</p>	

<p>4 宮沢賢治からのメッセージについて、自分の考えを書く。</p> <p>◎なぜ、賢治は紳士の顔を元にもどさなかったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紳士は、山猫に食べられそうになるという怖い思いしたのに、その後も自己中心的な考えが変わらなかったから。 ・着飾ったり、お金や力でいばったりして、外見ばかりを気にすることをできなくするため。 ・動物や自然の命を大切にしない紳士を懲らしめるため。 	<p>○紳士の行動は、取り返しのつかないことにつながり、読者も最後に再び恐怖を味わうという最後の一文の意味を考えさせる。</p> <p>○賢治の強い思いが表現されていることをつかませ、一文の効果をつかませさせる。</p>	<p>○本文の叙述や読み取ったことを根拠に、作品のテーマについて自分の考えを持っている。(ノート)</p>
<p>5 宮沢賢治からのメッセージについて、自分の考えを交流する。 (グループ対話→全体対話)</p>	<p>○「動物の命の大切さ」「自然に対する敬愛」「人間の傲慢さへの警告」など物語の重要なキーワードを押さえる。</p>	<p>○友達のことを自分の考えと比べながら聞き、自分の考えを深めている。 (行動観察)</p>
<p>6 宮沢賢治からのメッセージをおもしろさのレシピにまとめる。</p>	<p>○対話したことや全体で交流した考えをもとに、自分の考えを持たせてから書かせる。</p>	<p>○交流したことをもとに、自分の考えをおもしろさのレシピにまとめている。 (おもしろさのレシピ)</p>
<p>7 今日の学習を振り返る。</p>	<p>○本時の授業について、「他者視点」「自己モニター」の視点で振り返り、付箋紙(ブルー、ピンク)に記入させる。</p>	

